

## 秋視協便り 2017年夏号



～～ 共生社会の実現をめざして ～～

発行 一般社団法人秋田県視覚障害者福祉協会  
平成29年8月20日

発行責任者 会長 武田 利美

事務局 〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5

電話 018-864-2783

FAX 018-864-2785

E mail : akisikyou@mub.biglobe.ne.jp(事務局)

ホームページアドレス <http://www.akisikyou.jp>

### 見え方 いろいろ

会長 武田 利美

一口に視覚障害、見えない・見えにくいといっても、その様子は個人によっていろいろです。例えば、視野全体の中でその中心部だけがまるで細い管から覗いているように見えるけれど、その外側が見えていないとか、あるいはまったくその逆だったりという方もいます。特にロービジョン（弱視）といわれる状態では、周囲から視覚に障害があることを認識されにくく、不十分な見え方の状態を分かってもらうためにとっても苦労してしまうことがあります。

書類の文字がもう少し大きければ助かるのに、レイアウトが複雑で書き込み欄がどこなのか判りにくい、商品の値札が確認できなくて不安、などで代読代筆など、ご支援をお願いすることが多々あるかと思いますが、ご理解の上どうぞよろしくお願いたします。

### 実施事業・話題

平成29年1月～7月まで

#### ◆2月19日：スマートフォン講習会を実施

大仙市大曲交流センター第2研修室にて、28年度第9回スマートフォン講習会が開催され、数名の会員が初めて触るスマートフォンにチャレンジしました。

講習会では、お札を判別してくれるアプリ、物体を写してそれが何かを教えてくれるアプリなど視覚障害者に便利なアプリを体験しました。また、指先のタッチの組み

合わせによる操作方法、音声による入力方法など講習しました。

洋服のコーディネート・ストック食品の管理・紙幣の識別など、視力が欲しい！と地団駄を踏みつつ、且つあきらめていた参加者は、スマホによって解消できることに驚いておりました。

#### ◆3月12日：女性部、スカーフのおしゃれな使い方学ぶ

県心身障害者総合福祉センター和室において、講師にイメージコンサルタント・コーディネイターをお迎えし、スカーフのおしゃれな使い方に13名の参加者が挑戦しました。

結び方には70種類もあるとか！今回はドーナツ巻き、片リボン巻き、ポット巻き、ニューヨーク巻き、アフガン巻きの5種類を体験しました。会員の皆さん、持参したスカーフがそれぞれ違うので、材質や長さに合わせた結び方の個人指導もしていただきました。普段このようなスカーフの巻き方などを講習する機会がないので、とても有意義な講習会でした。おしゃれにスカーフを巻いて、どんどん外へ出かけたいとの会員の声が聞かれました。

#### ◆3月18日：点字ブロック敷設50周年

私たち視覚障害者の歩行の安全を支える点字ブロックが、世界で初めて敷設されたのは1967年3月、場所は岡山市内の道路。

第1号の敷設から3月18日でちょうど半世紀。現在では国際規格が定められるなど国境を超えて普及が進み、世界150カ国以上で採用されているとのこと。

点字ブロックの普及で行動範囲も広がっているが、路上の点字ブロックの上に自転車などの障害物が置かれることも常々、健常者には何気ない行為でも、視覚障害者にとって見えない先に障害物があるのは危険極まりない。

点字ブロックを初めて生み出したのは三宅精一さんという方で、視覚障害者が使う白杖を持った人が事故に遭いそうになった場面を目撃した精一さんは、視覚に問題を抱える人でも安全に道路を歩けるシステムを作る必要性に気付き、「音や触覚の捉え方は人それぞれ。足の裏の感覚は絶対的なものではないか」と考えた。試作を重ね、コンクリート製のブロック1枚に49個の突起を付けた初代が誕生したとのこと。三宅精一さんの努力や苦勞のおかげで、現在に至るまで色々な改善があり、現在の形になったわけだが、これからも点字ブロックの更なる普及を願いたい。

#### ◆5月21日：第1回サウンドテーブルテニスレベルアップ講習会

秋田県心身障害者総合福祉センター体育館において、サウンドテーブルテニスレベルアップ講習会が開催されました。

普段、競技者が勘違いやうろ覚えしているルールをこの際にしっかり覚え、楽しくプレーをする事を目的に午前中は講習会を実施し、午後からは普段あまり練習しない、A(アイマスク着用)競技者とB(アイマスク着用不要)競技者との実戦練習を行いレベ

ルアップを図りました。

※サウンドテーブルテニス：卓球によく似た競技です。卓球ボールの中に米粒大の鉄球が数個入っていて、ボールが転がるとカラカラと音がします。その音を頼りに卓球台のうえでお互いにラケットで打ち合う競技です。

#### ◆5月26日～28日：全国盲人福祉大会徳島大会開催

全国各地から視覚障害当事者など多くの関係者が集い、第70回全国盲人福祉大会（徳島大会）が徳島県徳島市で開催され、本県からは7名が参加しました。

期間中はお天気にも恵まれ日中は暑いくらいでしたが、夕方には海風があり、さわやかでした。

28日の大会最終日には、アスティ徳島（徳島県立産業観光交流センター）において第70回全国盲人福祉大会が開催されました。

式典に引き続き大会宣言・大会決議が採択された後、東京都盲人協会の笹川会長から、来年の第71回大会は記念大会として、平成30年6月11日（月）から13日（水）の3日間、東京文化会館で開催したいとの報告があり、徳島大会は終了しました。

以下に大会決議をご紹介します。

#### ◆大会決議

一、災害時における支援体制を確立し、福祉避難所に白杖や防災ベスト等の必要な物品を備蓄するよう要望する。

一、日常生活用具給付制度を見直し、補装具との整合性を図るとともに、地域間格差を解消するため、国において最低限の指針を示し、視覚障害者のニーズに即した品目の支給が可能となるよう要望する。

一、誘導ブロックや音響式信号機等の拡充、駅ホームからの転落事故防止策の推進、同行援護事業の充実、全国どこでも歩行訓練が受けられる体制の確立等により、視覚障害者の安全な移動が実現できるよう要望する。

一、あん摩師等法19条を死守すると共に、視覚障害あはき師への支援策の確立や無資格医業類似行為者の取り締まり強化によって、視覚障害あはき師の生計と職業領域が維持されるよう要望する。

一、視覚障害者の就労拡大のため、点字や拡大文字、あるいはパソコン等による採用試験の実施、就労を継続するための合理的配慮の提供が行われるよう要望する。

一、選挙公報をはじめとする情報は、点字、音声、拡大文字、テキストデータ等の当事者が必要とする媒体で提供するとともに、テレビのニュースや緊急放送における字幕スーパーの音声化を要望する。

一、視覚障害者のインターネット環境を整備し、個人認証やセキュリティー対策が視覚障害者にも対応できるよう要望する。

一、公共施設や交通機関の照明・案内表示・サイン等の設置基準が、弱視者にも対応したものとなるよう要望する。

一、どこでもロービジョンケアが受けられる体制を整備するとともに、中途視覚障害者の自立のため、早期の相談、生活訓練、職業訓練が受けられる総合的な施策の確立を要望する。

一、視覚障害の認定基準は、両眼の視力の和を基準とする現行制度を見直し、視力の良い方の眼を基準とする制度に改めるとともに、中心暗点等の者にも障害認定が受けられる基準となるよう要望する。

以上決議する

#### ◆6月18日：平成29年度定時総会開催される

平成29年度定時総会が県心身障害者総合福祉センターで開催され、佐々木道吉議長の下、平成28年度事業報告・決算報告・公益目的支出計画実施報告・あはき等法19条を厳守することを求める決議などの執行部提出議案のすべてが原案の通り承認されました。

#### ◆6月25日：ブラインドテニスを体験

県心身障害者総合福祉センター体育館において、講習会が開催されました。日本女子テニス連盟秋田県支部の方々を講師に迎え、受講者12名、ボランティアの方々も含め合計17名が参加されました。

ブラインドテニスは日本で考案されてから20年以上プレーされているスポーツですが、秋田県では3年前に初めて講習会が開催されました。何回か講習会を開催し、秋田県内でも競技者が徐々に増えはじめ、秋田県でも愛好者サークル「すまいるあきた」が結成されました。

今回の講習会にもサークルメンバーがお揃いのTシャツで参加協力してくださり、女子連盟のコーチと共に初心者への適格なアドバイスをして下さいました。

全盲の方はなかなかラケットにボールが当たらず悪戦苦闘していましたが、それでも一生懸命ボールを追う姿に感動しました。

※ブラインドテニス：ブラインドテニスは、音のでるボールをラケットで打ち返すスポーツで、ルールは、普通のテニスとおおよそ同じですが、弱視は2バウンドまで、全盲は3バウンドまでに打ち返すことができるというのが、一番大きな特徴です。

#### ◆7月23日：第2回サウンドテーブルテニスレベルアップ講習会

県心身障害者総合福祉センター体育館において、第2回サウンドテーブルテニスレベルアップ講習会が開催されました。

今年度一回目では、ルールを学び、フォームの修正とすばやい動きの改善に努めてきましたが、その成果を実践で試すことを目標に参加者は真剣に取り組んでいました。

## 今後の主な行事予定

### 8月

- 全国盲青年研修大会：8月26日(土)・8月27日(日) 鹿児島市

### 9月

- 全国盲女性研修大会：9月5日(火)～9月7日(木) 群馬県高崎市
- 盲導犬の実体験と説明会：9月24日(日) 秋田県仙北市
- グラウンドゴルフ教室：9月24日(日) 秋田県健康増進センター「ユフォーレ」
- リーダー研修会：9月30日(土) 県心身障害者総合福祉センター

### 10月

- 秋視協文化祭：10月1日(日) 県社会福祉会館
- 三療講習会：10月15日(日) 秋田市
- 第16回秋田県サウンドテーブルテニス大会：10月22日(日) 県心身障害者総合福祉センター
- バリアフリー点検：10月28日(日)・10月29日(日) 横手市
- 相談会：10月28日(日)・10月29日(日) 横手市
- 総合生活訓練：10月28日(日)・10月29日(日) 横手市

### 11月

- 東北盲人福祉大会：11月12日(日)・13日(月) 仙台市
- ブラインドテニス講習会：11月26日(日) 横手市
- スマートフォン講習会：11月～12月の日曜日、計5回県内各地域で実施

- 地域交流事業(あん摩鍼灸、その他の交流事業)：県内各地
- 盲青年社会生活教室：県内各地
- 盲婦人家庭生活訓練事業：県内各地
- 点字講習会：随時

※行事の実施日時や場所・内容などは変更される場合があります。

## 日本盲人会連合の情報より

### ◆日盲連 総合相談室のご案内

日盲連総合相談室は、平成28年8月の日盲福祉センターの組織替えにより新設された、更生相談所を含めた相談事業全般を担当する部署です。電話・来訪・電子メール等様々な形態で実施しています。また、すべての相談は無料で行なっています。

更生相談所は、身体障害者福祉法に基づく「身体障害者更生相談所」として位置づけられ、身体障害者の中でも視覚障害者に対して相談を実施しています。相談は、視覚障害者の自立と社会参加を支援するため、視覚障害に精通した当事者や医師・弁護士などにより専門的な相談を実施しています。相談方法として、生活の実情、環境等を聴取し、本人に対して、直接に、又は間接に、社会的更生の方途を指導すること並

びにこれに付随する業務を行っています。

日本盲人会連合 総合相談室

電話：03-3200-0011

Eメール：soudan@jfb.jp

お問い合わせフォーム

<http://nichimou.org/contact/contact-list/>



### 編集後記

視覚に障害があるために、自由に外出をして用事をすませる、手紙を書いたり読みたい本を読むなどの行為が思うようにならないということで、悩み、いらだち、孤独に陥っておられる方々に、私たちの団体「秋田県視覚障害者福祉協会」への入会をお勧めしています。

秋田県視覚障害者福祉協会は、「視覚障害者に対する社会の認識と理解を深め、そしてひとりひとりの視覚障害者の人間としての権利が保障される」という願いのもとに活動しています。

お近くで視覚障害でお悩み・お困りの方がおられましたら、ご紹介お願い致します。